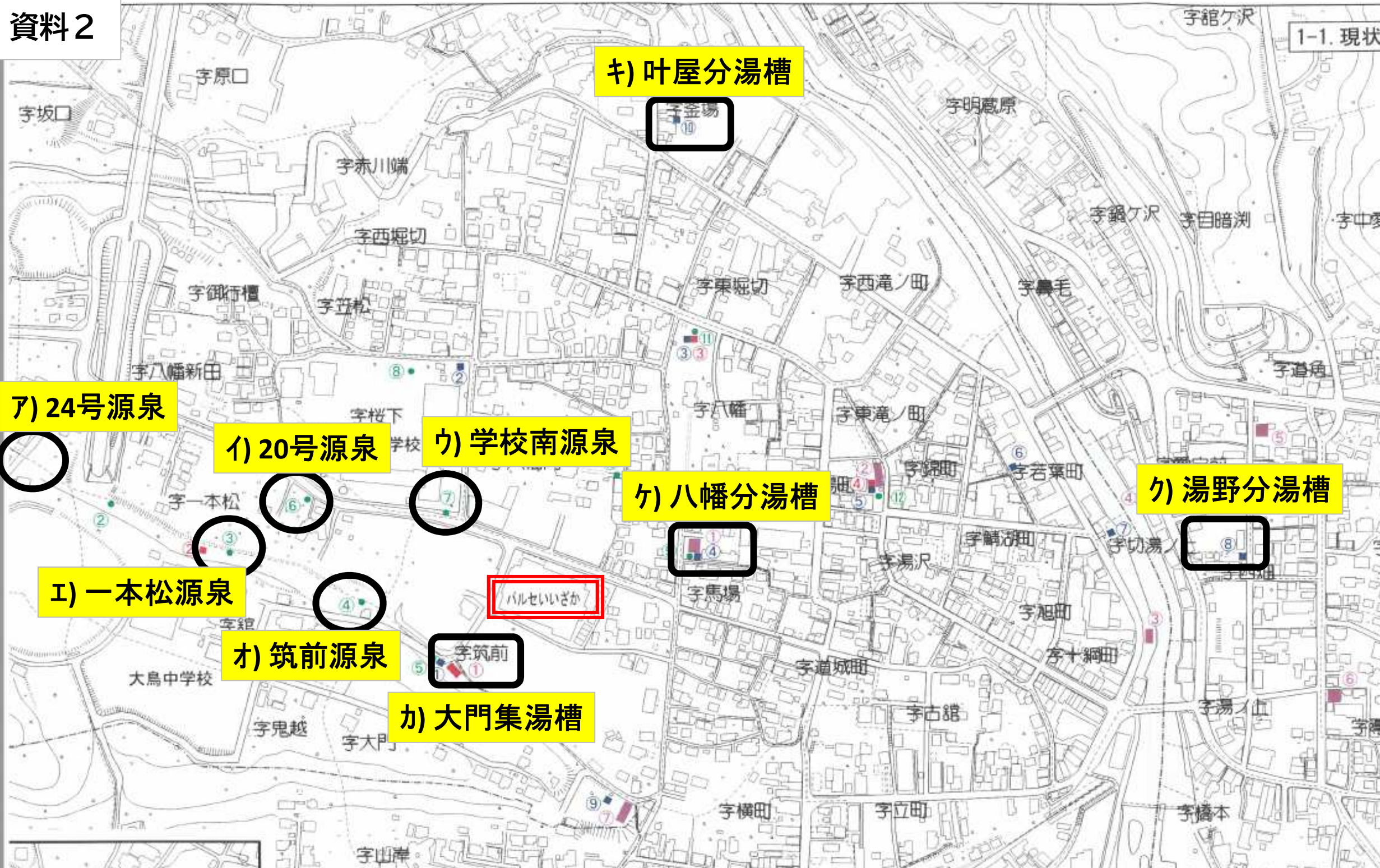


資料2

1-1. 現状施設・設備配置図



- 1-2. 源泉施設
- ① 24号源泉
  - ② 大鳥源泉
  - ③ 一本松源泉
  - ④ 筑前源泉
  - ⑤ 大門源泉
  - ⑥ 20号源泉
  - ⑦ 学校南源泉
  - ⑧ 飯坂小学校源泉
  - ⑨ 馬場源泉
  - ⑩ 八幡内源泉
  - ⑪ 公民館源泉
  - ⑫ 湯沢源泉
  - ⑬ 富士屋源泉
- 1-3. 動力室
- ① 大門動力室
  - ② 一本松動力室
  - ③ 公民館動力室
  - ④ 湯沢動力室
- 1-4. 分湯槽施設
- ① 大門集湯槽
  - ② 学校北分湯槽
  - ③ 公民館分湯槽
  - ④ 八幡分湯槽
  - ⑤ 湯沢分湯槽
  - ⑥ 若竹分湯槽
  - ⑦ 波来湯分湯槽
  - ⑧ 湯野分湯槽
  - ⑨ 大門分湯槽
  - ⑩ 叶屋分湯槽
  - ⑪ 詠婦亭ヘッター
  - ⑫ 天王寺分湯槽
  - 穴原中継ポンプ場

- 参考：公衆浴場
- ① 八幡の湯
  - ② 精湖湯
  - ③ 波来湯
  - ④ 切湯
  - ⑤ 仙気の湯
  - ⑥ 導専の湯
  - ⑦ 大門の湯
  - ⑧ 十綱の湯
  - ⑨ 天王寺穴原湯

**【凡例】** ※金額は設計費・工事費の合計額

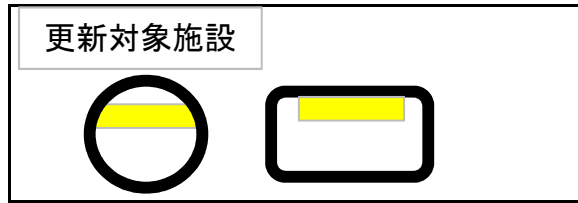
(1) ア)～オ) : 水中ポンプ方式へ転換 (5源泉／全13源泉中) 104,412千円

(2) カ)～ク) : 改築する集湯槽・分湯槽 (3か所／全12か所中) 112,970千円

(3) ケ) : スクリューコンプレッサーを設置する分湯槽 (1か所／全12か所中) 13,640千円

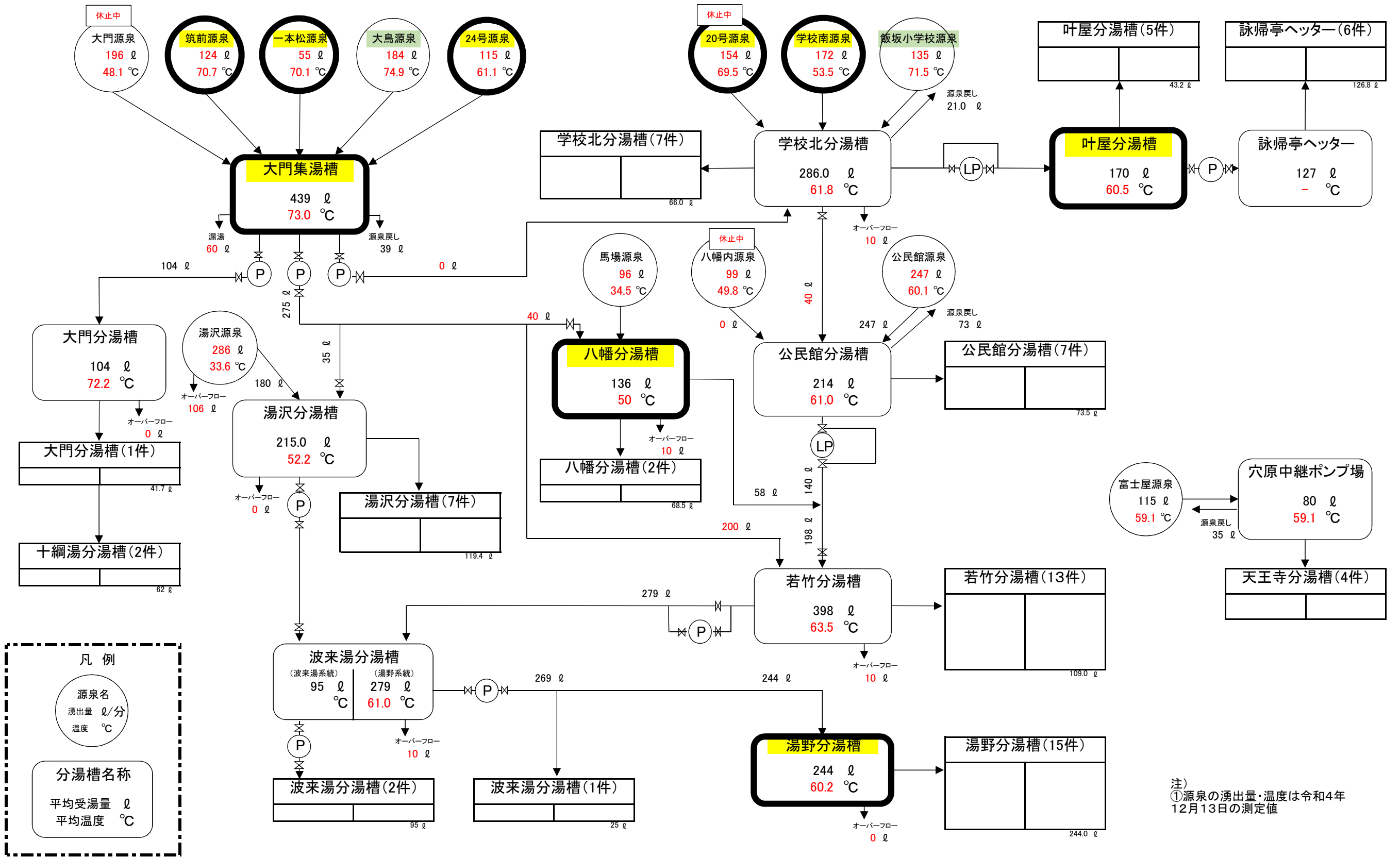
(4) その他 : 飯坂小学校東側送湯管(石綿管)更新 15,100千円

**合計 246,122千円**



# 飯坂町財産区温泉供給図

令和4年12月13日 現在



注) ①源泉の湧出量・温度は令和4年12月13日の測定値

# 揚湯方法の比較

1 揚湯方式	2 特徴	3 現況	4 改修後の動力室
<p data-bbox="400 331 676 380"><b>エアリフト方式</b></p>  <p data-bbox="519 451 736 483">空気を送る。</p> <p data-bbox="296 766 771 798">※空気が上ると、温泉の湯も上る。</p>	<p data-bbox="905 331 1602 415">圧縮空気を井戸に注入しその圧力で温泉を汲み上げる方式。</p> <p data-bbox="905 426 1602 510">機械(エアコンプレッサー)本体は温泉と接触しない為、耐久性に優れます。</p> <p data-bbox="905 520 1602 688">温泉の泉温・泉質・水位などによらず揚湯できる利点がある一方、揚湯管等に沈殿物が付着するため定期的なメンテナンスが必要となります。</p> <p data-bbox="905 699 1602 783">また、機械室が必要となり、騒音・振動の発生などの欠点があります。</p>	 <p data-bbox="2151 835 2389 867">大門動力室 現況</p>	<p data-bbox="2626 556 2745 598">必要</p>
<p data-bbox="400 1108 676 1157"><b>水中ポンプ方式</b></p>  <p data-bbox="430 1302 786 1333">電源 深井戸OK!</p> <p data-bbox="430 1386 519 1417">配管</p> <p data-bbox="430 1480 549 1512">ポンプ</p>	<p data-bbox="905 1108 1602 1192">井戸内の水面以下にポンプを設置して温泉を汲み上げる方式。</p> <p data-bbox="905 1203 1602 1329">機械室が不要で、水面が深くても効率よく揚水が可能となり、必要に応じ稼働・停止を行うことができます。</p> <p data-bbox="905 1339 1602 1423">水温が 80℃以上になると電気の絶縁不良や腐食により故障し易くなる欠点があります。</p>	<p data-bbox="2003 1102 2151 1134">水中ポンプ</p> 	<p data-bbox="2656 1312 2745 1354">不要</p>